

A B L（動産・債権担保融資）もわかる

# アセットファイナンス 実践講座

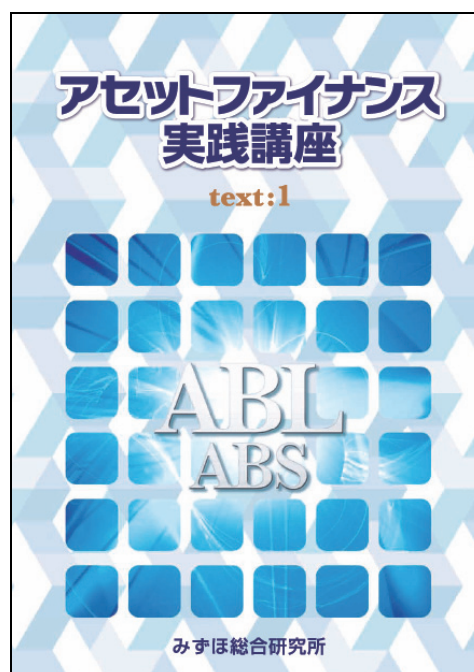
- |       |            |       |                 |
|-------|------------|-------|-----------------|
| ■受講対象 | 若手職員から中堅職員 | ■添削課題 | 2回              |
| ■学習期間 | 2ヵ月        | ■受講料  | 14,000円+税       |
| ■テキスト | 2冊         | ■修了基準 | 全回提出のうえ平均点60点以上 |

★日本FP協会継続教育研修認定単位 AFP7.5、CFP11 単位(金融資産)

## 証券化・流動化の メリットとリスクを解説

債権の証券化・流動化や動産担保融資（A B L）という、いわゆるアセットファイナンスが、中堅・中小企業の資金調達にも拡大しています。すでに、金融機関の営業担当者にとっての、基本的な知識のひとつです。

この講座では、このファイナンス手法について、銀行の専門担当者が、実務に即してわかりやすく解説しています。



お申し込み・ご照会先 本講座の受講申し込み・其他のご照会は、下記へお問い合わせください。

みずほ総合研究所 教育事業部（金融法人教育グループ）

〒100-0011 東京都千代田区内幸町1-2-1 日土地内幸町ビル TEL03(3591)7951 FAX03(3591)7981

http://www.mizuho-ri.co.jp/ e-mail:tsushin.kyoiku@mizuho-ri.co.jp

# 講座内容

## テキスト1

### 1. 証券化・流動化の基礎知識

- 第1章 証券化・流動化とは
- 第2章 メリット
- 第3章 証券化・流動化の基礎知識
- 第4章 証券化・流動化の組成実務
- 第5章 ABL（アセット・ベースト・レンディング）  
資料（民法、動産・債権譲渡特例法、破産法等）

## テキスト2

### 2. 多様化する証券化・流動化

- 第6章 債権の評価
- 第7章 証券化・流動化のさまざまなリスクについて
- 第8章 多様化する証券化・流動化
  - ① 売掛債権
  - ② 手形債権
  - ③ 電子記録債権
  - ④ リース料債権
  - ⑤ 診療報酬債権 ほか

※編集上の都合により、教課内容を一部変更する場合があります。

当パンフレットを当社に無断で複製、転載、改変、編集、頒布、販売などの利用をすることはご遠慮ください。また、当パンフレットの内容は予告なしに変更または廃止されることがございますので、詳細につきましては担当部署へ直接ご確認ください。